

誇り持って仕事に臨もう 第一貨物

第一貨物(武藤幸規社長、山形市)は1日、本社で入社式を行い、52人の新入社員を迎え入れた。

武藤社長が「トラックは国民生活や産業・経済に必要な役割を担っている。高性能な製品を生産しても、ユーザーに届かなければ価値を生まない。輸送して届けることで初めて価値が生

まれる。その輸送の9割を担っているのがトラックだ。それを自覚し、誇りを持って仕事に臨んでほしい」と強調。

更に、「当社の特積事業

は一人だけで完結する仕事ではない。バトンリレーのように、一人ひとりが完璧に役割を果たすことで完結する。社歌にあるよう『心と心を一つ』にして、サービスをつくりあげよう。一日も早く、社内外の信頼に答えられるよう頑張れ」と

激励した。
これに対して、新入社員を代表して甲斐楨久氏が「熱いハートを持って、第一貨物の使命、期待に応えたい。社会への貢献、企業の発展に全力を尽くしたい」と述べた。

なお、新入社員の紹介では、氏名と共に「顧客に信頼されるドライバを目指す」や「安全運転に徹したい」など、一人ひとりが決意を表明した。

(黒田 秀男)



新入社員代表の甲斐氏の

答辞を受ける武藤社長